

区内各小・中学校長様  
地域町会関係各位  
防災教育関係各位

足立区立西新井小学校  
校長 柴 良之

# 防災教育研究会のご案内

**「防災巻」の活用による地域に根ざした防災教室**  
～災害発生時のイメージをもち、自分の命を守ることができる児童の育成～

【主催】西新井小学校 緑のバトンプロジェクト実行委員会 【後援】文部科学省

**日時 平成28年12月19日（月）**

受付開始時刻 13時15分

13:15 13:45

14:30 14:45

15:40 15:45

16:40 16:45

受付	公開授業 (1-1, 4-1, 5-3, 6-1)	移動	参加者対象 防災巻ワークショップ	準備	防災講演会	謝辞
----	------------------------------	----	---------------------	----	-------	----

## 公開授業

### 防災学習ツール「防災巻」を活用した、 「命を守るための方策」を考える学習

<b>地震防災巻</b>		TIME →	17:00	1分後	5分後
記入日	平成26年 12月11日	地震発生時の状況 「どこで何をしていたか」など	はじめは、自分がゆれていると思った。 ゆれが急に大きくなって、テレビが 落ちた!	お家の人に電話したいけど電 話は食器だなにつかされた。 外に出たけれど、う下にも色々 落ちていたし、シャンプーはどっか わからないし...どうしよう。	王子五丁目団地が を思い出した。そこに 東+茶商店街の だけだし、それは遠く 歩いていくのはあが 東+茶マシヨンのま にした。 病院の前には、ま いた。
設定		「本当は、宿たいをするはず だけ。家にはだれもいない から、リビングでゲームをしてい る。ポテトチップスを食べながら リラックス。 家の人は、みんな仕事で帰っ てきていない。	地震発生	「どいあえず! げんかんから外に 出る。マンションの同じ階の人 は、みんな留守なのかな? エレベーターが動かないから、 かいたんて下までおりた。 なせか、ポテトチップスは手に もっていた。	以前は、災害が起こったそのときだ けのことだけしか考えていなかったけ ど、今日から、その先のことも考えよ うと思いました。 今日、先生や友達と色々考えて、非 常用袋を持っているだけでは解決でき ない問題がすごくたくさんありまし た。
季節	冬	天気	晴れ 強風		
日時	平成26年 12月11日17時				
記入者					

災害時の状況を具体的に想像し → 自分の命を守るためのより良い方法を考える。

講演会

**「家庭・地域・学校が災害に備えておくこと  
～東日本大震災の教訓から～」**

講師

元宮城県石巻市立北上中学校校長

**畠山 卓也 先生**



## 足立区立西新井小学校

〒123-0845 東京都足立区西新井本町4-9-27

【東武スカイツリーライン 大師前駅より徒歩7分 西新井駅より徒歩12分】

電話 03-3890-5591 FAX 03-3890-5592

## 防災教育公開授業

授業クラス	領域	活動名
1年1組	学級活動	<b>大じしんがきた！</b> ～家の中ではなにがおこるかな～
4年1組	総合的な学習の時間	<b>西小防災マップを作ろう！</b> ～大地震からみんなを救い出せ～
5年3組	総合的な学習の時間	<b>防災ガイド『西新井巻』を作ろう</b> ～災害から命を守るために～
6年1組	総合的な学習の時間	<b>わかる・伝える・広げる 防災の“WA”(和・輪)</b>

大地震が起きると、学校や家の中、西新井小学校周辺のまちの中では  
どんなことが起きるでしょう？  
自分は、どんなことを考え、どのように行動するでしょう？  
地震発生から10秒後、1分後、1時間後、1日後…  
自分を主人公とした物語を時系列に沿って考えることで、  
「災害から命を守る方法」を考えます。

## 保護者・参加者対象ワークショップ

**災害の現実を想像することで気付く  
「命をまもるために必要なこと」**  
～防災巻を活用した災害時想像訓練～

非常用持ち出し袋、備蓄食料品、災害時集合場所…  
家庭で準備している物や家族で決めた約束などは  
本当に災害時に役立つでしょうか？  
防災巻を活用し、災害が起こった時のことを詳しくイメージすることで  
家庭や地域の状況に合った「災害から命を守る方法」について考えます。

## 防災企画展

**熊本地震報道写真展**  
～いま私たちができること～

新聞社が所蔵する、「熊本地震」発生時からの報道写真およそ40枚を校内に展示します。  
協力：朝日新聞社